

 そうふうPartⅡ 爽風 発行者：校長 下地美和子	学校教育目標 創造性にあふれた 心豊かでたくましく 生きる児童の育成 目指す児童像 ・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子 ・当たり前のことを一生懸命にやる子(凡事徹底)
★しんけんにもちあじいかしてじぶんから 明るい心 未来へつながる 下地小	

宮古・大阪・北海道をつなげて～

5年生「3校オンライン交流会」

2月18日、5年生が3校オンライン交流会を行いました。この交流学习は、10月に次いで2回目。

北海道の旭川市立知文小と大阪の茨木市立太田小、本校下地小の3校の5年生が、ズーム(オンライン会議システム)を活用し、遠隔交流学习を行いました。

3教室に分かれ、それぞれの学校や、暮らし、地域の様子などを紹介し合いました。下地小は、台風や宮古島まもる君などを紹介。北海道からはかまくらや雪かきの仕方、雪だるまの作り方などを紹介。大阪の学校は運動会で「ソーラン節」「エイサー」を披露したことを紹介していました。その後「鎌倉はどうやって作りますか?」や「宮古島はどれくらい雪が積もりますか?」などなど互いに質問し合いました。「いつかきてね」という言葉が印象的でした。『所変われば品変わる』で、同じ日本でも環境の違いを改めて理解したようです。有意義なオンライン交流会となりました。



「生まれ年同窓会」寄付金贈呈！

本日、今年で36歳になる下地小の卒業生の皆さんによる「生まれ年同窓会」の寄付金贈呈がありました。下地小を2001年卒に卒業した皆さんは、当時41人の同級生がおり、6年生ではなんと「宮古上布物語」の絵本を貸して下さった前泊直子先生と、砂川博明先生が担任だったそうです。

代表で、池田南さん、川満かおりさんが来校し、「後輩のために役立ててください」と金一封を寄付していただきました。

今年36歳になる巳年の皆さん、温かいお志に感謝致します。下地小の子ども達のために大切にに使わせていただきます。この場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



眞子先生、 元気な赤ちゃんを産んでね！

1年担任の宮山眞子先生がおめでたで2月21日からお休みに入ります。2月20日が最後の日となり、子ども達といつも通りお勉強をして過ごしました。眞子先生は、4年前に沖縄本島から宮古島にいらして、4年間下地小学校の子ども達の為に頑張ってくれました。責任感のある、しっかりした眞子先生、今後は実家のある沖縄本島の方で過ごします。元気で丈夫な赤ちゃんを産んでください。補充の先生は後日着任予定です。

